

平成22年度石西礁湖自然再生事業の方向性（案）

- 1 モニタリング調査
調査地点、調査項目等を見直し、サンゴ礁生態系の状態の効果的な把握に努める。
- 2 サンゴ群集修復事業
21年度中に再選定を予定している再生区において、安定的かつ効果的な事業実施に努める。
併せて、必要な調査を実施し、重要海域の見直しを行う。
- 3 オニヒトデ駆除事業
オニヒトデの分布状況等の調査を継続して実施するとともに、八重山オニヒトデ対策協議会で関係機関と協議し、地域と協働して駆除対策を実施する。
- 4 評価手法の確立
各事業の実施を通じて評価手法の検討を図る。
- 5 陸域対策との連携
関係行政機関、自然再生協議会等の取組が、より効果的に推進されるよう、積極的な協力を努める。
- 6 利用に関する負荷対策との連携
関係行政機関や漁業者、観光業者等との連携を図り、適正利用を働き掛けていく。
- 7 意識の向上と普及啓発
自然観察会の開催や、「子どもパークレンジャー」等の取組を継続して実施する。
- 8 その他
石西礁湖ポータルウェブサイトの充実等を図る。